



# 紺 碧

調布稲門会 会報

2015.6 No.42号

事務局 〒182-0034

調布市下石原 3-62-3

Fax 042-487-1154

E-mail toumonkai@gmail.com

編集責任者 五十嵐真 高原浩

## 「着眼大局 着手小局」の発想で会を運営 --新会長就任に当たって

会長 椎原 大典 (昭35政経)

第5代早稲田大学校友会調布稲門会会長に就任の  
大任を仰せつかり、責任の重大さを感じています。  
九州、大分県で生まれ育ち、地元の高校を卒業し、2  
年間、肺結核の療養生活を経て20歳で上京し、早稲  
田大学政経学部に入りました。昭和35年に卒業し、  
36年間の会社勤務を終え、現在に至っています。本  
籍を大分県から調布市に  
移し、調布人になりきって  
います。さて就任に当たり、  
私の信条、基本的なもの  
の考え方について紹介致し  
ます。「着眼大局 着手小  
局」という言葉が、好きな  
言葉の一つです。囲碁の言  
葉で、戦力構想の基本です。  
「まず目を付けるときは  
全体を大きく見て、想を練  
る。そして実践は小さいことを積み重ねてゆき、事  
を成す」ということです。この言葉を胸に刻み、会  
長として調布稲門会の運営に当たる所存です。

次に「母校への協力について」です。昨年秋、S  
GU(スーパー・グローバル・ユニバーシティー)制  
度がスタートし、13大学のうちの1校として指定さ  
れ、国から資金援助を受けながら、グローバルレ  
ベル100位以内を目指して活動中です。また5年前に  
創立125周年を経て、現在は150周年に向けて  
『Waseda Vision 150』と銘打って着々と新たな準備

が着手されています。調布稲門会としてもこのよ  
うな動きに対して、どのような形でお役に立てるかど  
うか分かりませんが、できる限りの協力は惜しまな  
い考えです。調布稲門会の基本的な柱の一つである  
地域社会への貢献について、例年、年末には社会福  
祉協議会主催のバザーには出店させて頂き、売上金

は僅少なながらも寄付さ  
せて頂いています。新規  
イベントとして地域社  
会との交流という意味  
で、多摩川や野川のク  
リーン作戦にも参加し、汗  
を流すことで市に貢献  
できるようなことを検  
討中です。一方、会員相  
互の親睦について、従来  
の同好会の輪をさらに



広げて、稲門会を面白くしようという発想の下、新  
しい提案をKJ法というアンケートのやり方でアイ  
デアを募集し、目下、検討中です。それを順次実行  
に移したいと考えています。私は昭和11年の生まれ  
であり、後期高齢者です。調布稲門会の活性化を図  
る意味でも、今年の稲門祭のテーマ『The Next  
Generation!!』ではありませんが、早い機会に若い  
人たちに譲るべきだと常々考えています。従って私  
の役目はワンポイントのリリーフ・ピッチャーでい  
いと思っていますが、気持ちはいつもベンチャー精

神であふれています。最後に調布稲門会の発展を祈り、就任のご挨拶とさせていただきます。願し従来にも増して一層のご協力、ご支援をお願い

## 役員陣の大幅交代、新機軸の活動計画など決議——第34回総会

編集担当幹事 高原 浩(昭44法)



第34回(2015年度)調布稲門会総会が、5月31日(日)午後2時から調布市文化会館たづくり12階大会議室で開かれました。来賓を含め76人が参集し、今年も大盛況でした。前年度の活動報告、決算・監査報告のあと今年度の役員・幹事案、活動計画案、収支予算案が承認されました。さらに新入会員の紹介、来賓挨拶、記念講演(講師は元早大体育局講師で作家の丸屋武士氏、講演要旨は別稿参照)そして今年も屋台形式の懇親会へと、会場は次第に盛り上がりを見せました。

総会議案で特に注目されたのは役員陣の大幅な交代です。3期6年にわたり調布稲門会の運営に尽力された元木勇会長(昭37政経、顧問就任)に代わって椎原大典副会長(昭35政経)が新会長に就任。5人の副会長で留任したのは1人のみ。新年度から副会長は6人体制となりますが、新任5人中2人は初めて昭49卒と“かなりの若返り”。今後はこれらエネルギーな若手副会長を中心に5人の新任副会長には会の新機軸展開の牽引役が期待されます。また実務の要となる幹事長も堀内正之さん(昭46法)から堀龍之介さん(昭38理工)に交代しました。

今年度からの新機軸で注目されたのは、社会奉仕活動(多摩川、野川のクリーン作戦への参加)や同

好会活動や会員交流の拡大充実(新規会合・イベント企画の実現、会員の地域懇談会の検討など)です。



議事が終了したところで元木前会長に涌田みちる副幹事長(昭58理工)から花束が贈呈され、長年のご尽力に感謝の拍手が送られました。さて会議場を模様替えて設営した懇親会は昨年、小笠原忠八郎会員(昭40商)のご紹介で初めてパーティー用出張レストランの「東京正直屋」さんに飲食サービスを提供して頂き、大好評でした。今回も職人さん



たちが和洋中華三大料理を目の前で握ったり切り分けたりして下さり、特に寿司コーナーには長蛇の列。10ほどの島テーブルではお互い旧交を温める会員、初対面ながら話が弾む会員、和気藹々の心地よい懇親会となりました。プロの女性歌手の歌唱サービス

も場を盛り上げていました。そして宴たけなわの午後6時半、恒例となった応援部OB会員のリードで「都の西北」を斉唱、お開きとなりました。

## 2015年度人事 役員13人・幹事15人 新体制の布陣

総会で承認された2015年度の役員・幹事の方々全員をご紹介します。役員は13人、幹事は15人です。役職、氏名、カッコ内卒年・学部の順・新は新任。(編集担当)

会長 椎原大典(昭35政経、新)  
副会長 五十嵐眞(昭37理工)、村上勉(昭42教育、新)、小林勝(昭43法、新)、石井宏和(昭45商研、新)岡田文男(昭49理工、新)、山田和子(昭49文、新)  
幹事長 堀龍之介(昭38理工、新)  
副幹事長 芦沢友雄(昭49理工、新)、涌田みちる(昭58理工)  
会計(副会長兼務) 石井宏和  
監査 濁川寿次(昭42理工、新)、野村大也(昭45理工)

幹事 早川政夫(昭30商)、川岸正明(昭34法)、山崎正昭(昭34商)、河野瑠美(昭36教育、新)、安松董矩(昭37教育)、松野宏(昭43教育、新)、関口憲三(昭44商)、高原 浩(昭44法)、中野慶子(昭50教育)、坊野美代子(昭53教育、新)、舟久保賢一(昭55法、新)、天野凡子(昭56文) 柵木真也(昭59政経)、秋沢淳雄(昭60商)、大槻誠孝(平12法)

## 講演「進取の精神、学の独立—早大看板教授安部磯雄と大隈重信の絆—」

元早大体育局講師 丸屋 武士氏(本名木伏 龍也氏 昭39政経)

要約 柵木 真也(昭59政経)

安部磯雄は慶応元年、福岡県生まれ。明治維新がなければ黒田藩の柔術師範になっていた可能性が高い。安部磯雄が生まれた時には大隈は27歳。大隈も安部も27歳の時に素晴らしいアチーブメントを成し遂げました。大隈は27歳の時に佐賀藩の代品方(かわりしなかた)という貿易商館の取締役に命ぜられ長崎に赴任しました。当時、米国の宣教師フルベッキは自宅で英語を教えていて、各藩はフルベッキにほれ込み藩校の教師として招聘しようとしたが、拒絶されました。大隈は佐賀藩と地続きの長崎に学校を建ててフルベッキを招くことを考え、藩主鍋島直正の覚えがめでたかった副島種臣を口説き、副島は了解。大隈のような上・中級者向けの教材は聖書と米国憲法でした。大隈もその学校の英語教師

になりました。



大隈が世の中に出るきっかけは明治2年、政府が長崎のキリスト教徒を処罰したことに対し、英国公使パークスが抗議。やりとりしたのが大隈でした。

「大隈のような下っ端は相手にしない」と言ったパークスに対し、大隈は「聖書も祈祷書も読んでおり、このことを論ずる資格がある」と立派な英語で応じました。大隈が「内政干渉」という言葉を持ち出したこともパークスには意外だったようです。西郷隆盛も三条実美も大隈にすっかりほれこみ、普通なら口もきいてもらえず、会ってももらえないような人と差しで話しができるようになりました。英語力がすべてでした。

明治15年に開校した東京専門学校では生徒の中に政府の密偵も入っていました。「謀反人養成所」だから講師の成り手がいない。東京大学からきてもらうしかないが、政府は「東大の職を失うぞ」と脅しました。非常に苦勞し大隈家の財政も尽きてきて、大隈家とは関係のない学校にしようとし、前島密を

第二代校長に、鳩山和夫を第三代校長としました。そして明治40年に大隈が初代総長に就任。真っ赤なガウンを着て5千人の会衆の前で演説。開校の時に小野梓が万雷の拍手を浴びたのと同じ「学の独立」を唱えました。

(丸屋氏の講演は時間切れで大隈重信の話だけで終わりましたが、その大隈を説いて安部磯雄が築いた戸塚球場は後にその名を冠した「安部球場」となり、さらに安部は早大野球部を創設するなど日本の野球の発展に大いに貢献し「日本野球の父」と呼ばれました。その功績により後に安部は野球殿堂入り(特別表彰)しています。さらにご関心のある方は丸屋氏の近著「嘉納治五郎と安部磯雄—近代スポーツと教育の先駆者—」(明石書店、2014年)をどうぞ。)

## 会員のエッセー

### 母の勧めで幼い兄弟、一緒に野球人生スタート——野球殿堂入り、兄林和男の思い出

名誉会長 林 貞夫 (昭25法)

「故林和男氏殿堂入り」と1月24日付朝刊各紙とスポーツ紙に、日本リトルリーグの創設者として一斉に大きく報道されました。

が「特別表彰」で選出されました。また2月5日付調布市報1面の市長コラム「手をつなぐ樹」で長友市長からも祝意を頂きました。

このたびの殿堂入りは、兄の活動を支えて頂いた全国のリトルリーグの関係者をはじめ調布ロータリークラブや多くの市民の皆様のご支援の賜と感謝申し上げます。

兄弟が誕生した大正12年と15年頃の調布町は江戸時代の宿場町の面影を残す人口8千人あまりの閑閑な農村でした。母イツエは当時としては珍しく兵庫県赤穂の出身で、縁あって林家に嫁ぎ父米一郎(元市議会議長)との間に4男2女を授かりました。女学生の頃から甲子園と神宮球場の学生野球のファンだった母の勧めで、小学校低学年からキャッチボールを始めたのが兄弟の長い野球人生の原点です。

兄和男は早大政経学部在学中、5クラブチームを統合して早稲田大学軟式野球部を創立し、主将として昭和22年と23年の国民体育大会を連覇、社会人としても調布ロータリークラブや府中刑務所を率いて3度日本一に輝きました。



野球殿堂入りを伝える1月24日付スポーツ紙の記事

平成27年度の野球殿堂入りは3人。「競技者表彰」でスロウズの名捕手古田敦也氏が選ばれたほか、朝日新聞社の創業者で全国中等学校野球大会(現高校野球)の生みの親、故村山龍平氏とともに兄和男

昭和39年、早稲田から有力6選手を招き、林建設として都市対抗野球で後樂園を目指したが叶わず、昭和47年に休部したのが唯一の挫折でした。しかし残った選手たちがリトルリーグを指導し、昭和51年に荒木大輔投手で2度目の世界一になり、同年から

日本選手権7連覇して全盛期を迎えて、今回の殿堂入りの道が開けました。

兄の厳しい指導と強運、その兄に野球を教えましたが47歳の若さで他界した母の恩に改めて感謝して思い出と致します。

### 被疑者には人生岐路の3日間、出動要請におおわらわー当番弁護士奮闘記一

舟久保 賢一(昭55法)

私は平成元年に弁護士登録し、都心に近い神田錦町に事務所を構えています。専門分野は民事一般ですが、今日は「当番弁護士」の仕事についてドキュメンタリー風にご紹介してみたいと思います。当番弁護士とは、弁護士が1回、無料で逮捕された人に面会に行く制度です。

——壁の時計が午後5時半を回ろうとしていた時、FAXが受信を始めた。当番弁護士の出動要請だ。被疑者は48歳男性、国籍「日本」、罪名「迷惑防止条例違反」、留置場所「A警察署」。書きかけの準備書面を閉じて事務所を出、午後6時半、接見室、透明の亚克力板の向こうにはサラリーマン風の男性。電車内でお尻を触ったとする痴漢容疑で逮捕された被疑者だ。「私はやっていません」と当時の状況を詳しく説明する。否認事件だ。どうしたものかと頭の中をよぎる。否認の場合、通常、20日間の勾留を覚悟しなければならない。しかも運悪く明日・明後日は土日だ。勾留請求する検事も勾留を決定する裁判官も「当番」だ。「当番」の場合、勾留を認める方向に流れやすい。被疑者は大手メーカー勤務の課長職。妻、高2の長女、中3の長男の4人家族。週明けには秋田県に出張予定だという。

電車内の状況など詳しく事情聴取。やっていないのなら取り調べに対しては、意思を強く持って認めないよう注意を促す。後になって否認しても取り返しがつかない。妻への伝言預かる。妻は動揺した風もなく「主人を信じます」と落ち着いた対応。なかなかのしっかり者だ。

翌土曜日は休日出勤、勾留請求担当の検事に勾留請求しないよう申し入れるため東京地検へ。2時間近

く待たされたあげく、面談は2、3分で呆気なく終了。事務所に帰り、翌日裁判官に提出する意見書の起案に取りかかる。被疑者からの聴取内容をもとに、否認だが身元もしっかりし、罪証隠滅も逃亡のおそれもない旨、詳細に記述。

翌日曜日、内容確認のため意見書案を携え、朝6時、車で家を出る。向かうはA警察署。被疑者から「私のやっていないという言い分は通るのか」「夕べ入ってきた痴漢の人は認めて弁護人に被害者との示談を依頼し早々出られそう」「私の言い分が通りそうにないのなら早く認めて身の振り方を考えたい」等、矢継ぎ早の質問や投げやりな発言。それでも無実の主張は変わらないが、被疑者は早々に戦意喪失。聞けば同房のベテラン犯罪者から刑事手続きの現実をレクチャーされたとのこと。

被疑者の心配はもつともで、否認し続けても起訴される可能性は大きく、有罪の可能性もある。弁護人としては何の保証もできない。こうなるとやっていないのなら無実を主張し続けるべき、などときれいな事ばかりは言っていられない。しかし今日のところは認めないよう説得し、意見書の修正部分を確認し事務所へ向かう。

日曜日で閑散とした霞ヶ関官庁街。守衛にことわり、東京地裁の地下日直室へ。静寂の中、10人ほどの書記官や事務官が黙々と執務中だ。修正した意見書を提出し、「やれることはやった」自宅への帰路に就くが、途中、携帯が鳴る。被疑者の妻からの電話で「東京地裁から電話があり印鑑を持ってくるように。弁護人にも連絡を取ってくれ」とのこと。すぐさまUターンし途中、被疑者の妻を拾い、東京地裁

へ。否認事件だが意見書が通り、捜査機関への出頭  
 約束のもと検察官の勾留請求は却下、被疑者は夕方  
 釈放へ。釈放された被疑者は、事件を子供達に知ら  
 れることなく無事、秋田へ出張に出かける。検察官

の終局処分は嫌疑不十分の不起訴に終わる。被疑者  
 にとっては正に人生の岐路の3日間だった。――

## 短信/情報/お知らせ

### (平成27年新年会 40人が参加、和やかに)

平成27年新年会が2月21日(土)午後4時半から  
 調布パルコ8階の調布クレストンホテルで開かれま  
 した。初めて長友貴樹調布市長(慶応大OB)をゲスト  
 に迎えて40人余の会員・準会員が参加。元木勇会  
 長挨拶の後、林貞夫名誉会長の乾杯発声、長友市長、  
 吉尾勝征顧問、大道信敏会員の挨拶と続き、約2時  
 間半にわたって会食をしながらの和やかな会となり  
 ました。出席者は次の通りです。(順不同、敬称略)

秋沢淳雄、天野凡子、芦沢友雄、五十嵐眞、  
 石井宏和、石倉毅、石田欽也、大道信敏、  
 小笠原忠八郎、岡田文男、神谷博、河野瑠美、  
 小林勝、椎原大典、白川準一、林貞夫、

舟久保賢一、堀龍之介、堀内正之、柵木真也、  
 松野宏、元木勇、諸岡不二男、関口憲三、  
 高原浩、竹林信行、常見宏一、中野完二、  
 中山忠夫、濁川寿次、安松董矩、山田和子、  
 吉尾勝征、涌田みちる、坪井貞光、嶋田浩一、  
 山崎正昭、石倉恵子、石田尚子、小林正子、  
 (来賓) 長友貴樹

**(会員情報)** 前号発行時(2015年1月)以降、会員  
 になられた方をご紹介します。(敬称略、氏名、卒年・  
 学部、加入時期)

嶋田 浩一 平2教育 2015年2月  
 (5月20日現在、正会員156人、準会員33人)

## 生き生き！みんなの同好会活動

### (各同好会の代表者と連絡先)

同好会	代表者	電話番号	メールアドレス
囲碁・将棋	大谷 暢廣	042-481-0202	
	早川 政夫	042-487-9610	<a href="mailto:sazuhaya@jcom.home.ne.jp">sazuhaya@jcom.home.ne.jp</a>
カラオケ	中野 慶子	080-5174-1863	<a href="mailto:k_nakano_2648@ae.auone-net.jp">k_nakano_2648@ae.auone-net.jp</a>
硬式テニス	五十嵐 眞	03-3308-0898	<a href="mailto:igarashi@w3.dion.ne.jp">igarashi@w3.dion.ne.jp</a>
ゴルフ	安松 董矩	042-488-5726	<a href="mailto:s.yasumatsu@jcom.home.ne.jp">s.yasumatsu@jcom.home.ne.jp</a>
社交ダンス	元木 勇	03-3300-4554	<a href="mailto:btf22hsq4bje57t4y4qt@docomo.ne.jp">btf22hsq4bje57t4y4qt@docomo.ne.jp</a>
太極拳	中野 完二	042-485-0523	
麻雀	濁川 寿次	042-483-6966	
ワンゲル	石倉 毅	090-8587-1909	<a href="mailto:isicra996@jcom.zaq.ne.jp">isicra996@jcom.zaq.ne.jp</a>
	天野 凡子	042-480-2503	<a href="mailto:minako-amano@view.ocn.ne.jp">minako-amano@view.ocn.ne.jp</a>
女性の会	山田 和子	042-488-0741	<a href="mailto:kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp">kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp</a>
フラダンス	大谷 裕子	042-485-7489	<a href="mailto:wu5mh3@bma.biglobe.ne.jp">wu5mh3@bma.biglobe.ne.jp</a>
語ろうアースカフェ	山田 和子	042-488-0741	<a href="mailto:kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp">kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp</a>

## 秩父・羊山公園の芝桜を満喫、居合わせた早大自転車同好会学生とも交歓(ワングル同好会)

代表 石倉 毅(昭36理工)

春のワングル活動は4月26日(日)、埼玉県秩父市羊山公園に。参加者はゲスト1人を含む11人と少人数ながら好天に恵まれ、咲き誇る9種類、約40万株の芝桜鑑賞を楽しみました。シーズンは4月中旬から5月上旬で、毎年ゴールデンウィークには40万人が集る人気スポット。この花はハナシノブ科の多年草で花の形が桜に似ていることから、その名が付いたとか。3月初めに下見で現地を訪れた時は約30%が更地で、盛んに苗を植えていましたが、そこも満開状態に。この公園は武甲山の麓、約17,600㎡の国内最大規模を誇り、その植栽面はお互い向き合う斜面を利用して作られており、どこからでも眺望できるよう工夫されています。当日はJR八王子駅、八高線ホームに集合し飯能駅で西武秩父線に乗り換え、約2時間半で目的の西武秩父駅に到着、駅前には予想通り多くの客で混雑していました。この公園の市内を一望できる高台に小さな美術館があり、棟方志功の作品を中心に林武、鈴木信太郎、熊谷守一らの作品が展示されており、全員で鑑賞しました。芝桜のエリアと異なり静寂な空間は一服の清涼剤でした。



この公園内に来合わせたわが母校の自転車同好会、早大サイクリングクラブ(主将池田航さん)の学生と交歓、一緒に記念撮影したり、暮れの福祉バザーに誘ったり、思わぬ出会いがありました。予定の時間には秩父駅に戻り、恒例の打ち上げは現地ではほとんどの店が満員で利用できなかったため、やむなく調布に戻り、堀龍之介会員の案内で駅前の飲食店で全員無事の戻りを祝いました。

## 「ミャンマー」から「スウェーデン」へ

「語ろうアースカフェ」の「ウズベキスタン講座」、「ミャンマー講座」が終了し、参加者数は139人(会員・準会員55人、一般市民74人、学生10人/延べ人数433人)となりました。講座を通じて語ろうアースカフェの交流の場も育ってきています。今後の企画で早大国際部国際教育企画課の協力が得られる体制も整いました。

「ミャンマー講座」終了後、3月にミャンマー旅行を実施しました。ヤンゴン、マンダレーの熱気、一方でバガン、インレー湖周辺では静謐な時が流れていました。インレー湖での、ミャンマー講座講師トゥカアウンさんのシャン族のご親戚宅訪問、ヤンゴンでのご両親宅訪問、在緬日本企業進出アドバイザー(早大卒)との会食などは貴重な体験でした。特

「語ろうアースカフェ」世話人 山田 和子(昭49文)

にご両親宅では50代、60代の知識階級の国に対する思いをゆっくりと聞かせて頂きました。1週間の短い旅行でしたが、発展途上の活気、仏教と生活の密接な関わり合い、多民族国家の複雑な問題、近隣諸国との関係など、現地の空気を吸いながら、ほんの少しですが、感じ取れました。

本年度(10月開講)の講座の対象国はスウェーデンです。

講座名は「スウェーデン講座—態度がでかい、北欧の果ての小さな国スウェーデン—」(全4回、土曜日午後2時~4時、2回目は午前10時~12時)。

第1回「森と海と鉱山に恵まれたスウェーデン」(10月24日)、第2回「スウェーデンの教育システムの柔軟性」(11月28日)、第3回「世界の中のスウ

エーデン」(1月30日)、第4回「スウェーデンの中  
の世界」(2月27日)。

場所は調布市文化会館たづくり8階映像シアター、  
講師はテオリン・アクセルさん(東京外国語大学大

学院卒)。費用は各回1,000円(学生無料)。

問い合わせ・申し込みは山田和子まで。

電話/Fax: 042-488-0741

Email: [kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp](mailto:kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp)



「夏が来れば思い出すはるかな尾瀬とおい空」 下の大堀川から至仏山遠望 (2015年6月10日、五十嵐眞撮影)

<編集後記> 総会もお蔭様で無事終わり、関係者一同いつもながらほっとしています。新年度から役員・幹事が大幅に変わり、懸案だった会の活性化がいよいよ待ったなしで期待されます。会員の皆様のご協力を一層、お願い致します。さて今号からカラー印刷の復活です。高コストですが、復活を望む声が強くなり戻りました。会の財政健全化のため、今後はeメールによる配信拡大や会員宅への手配りなどで印刷代や郵送費の経費低減を図りますが、メールアドレスの整備やご自宅への手配りにもぜひ皆様のご理解を。(高原記)

『紺碧』原稿受付eメールアドレス: [h-takahara@almond.ocn.ne.jp](mailto:h-takahara@almond.ocn.ne.jp)

<p>深大寺そば 創業文久年間 ご宴会・俳句会・御法事 <b>元祖 嶋田家</b> 住所 〒182-0017 電話 ○四二・四八二・三五七八 FAX ○四二・四八九・六六五五</p>	<p>早稲田大学商議員 <b>早稲田大学調布稲門会</b> <b>会長 椎原 大典</b> 自宅 〒182-0025 調布市多摩川三・四七・三〇 電話 ○四二・四八二・八八四八 FAX ○四二・四八二・八八四八</p>	<p>旭化成建材(株)指定工事店 外壁塗装・屋根塗装 <b>株式会社住まいるスズキ</b> 代表取締役 <b>鈴木 光孝</b> 〒182-0023 東京都調布市染地三・五・六五 電話 ○二〇・〇八〇・二四二二</p>	<p><b>株式会社パルコ 調布店</b> <b>店長 田中 雅之</b> 住所 〒182-0026 東京都調布市小島町一・三八・一 電話 ○四二・四八九・五〇一〇 FAX ○四二・四四〇・七六六五</p>	<p>イベント・パーティー <b>(株)東京正直屋グループ</b> 住所 〒331-0821 さいたま市北区 別所町二四・五 電話 ○四八・六八五・一七七一 FAX ○四八・六六八・二九七二</p>	<p>相續を争族にしないために、 公正証書遺言をお勧めします。 行政書士堀内綜合法律事務所 <b>行政書士 堀内正之</b> 〒182-0035 東京都調布市上石原三・十二・八 電話・FAX ○四二・四九九・一三〇〇 HPは「調布」行政書士 堀内にて検索</p>
<p><b>林建設株式会社</b> 取締役社長 <b>林 清一</b> 住所 〒182-8512 東京都調布市小島町一五六三 電話 ○四二・四八六・一一一 FAX ○四二・四八六・一一二〇</p>	<p>本格カレー&amp;ダイニング <b>エムスキッチン</b> 住所 〒182-0024 調布市布田四・二・七 ホテルノビス調布1階 電話 ○四二・四四四・二八五 調布駅1分 飯野病院西側 月曜日定休</p>	<p>宿泊・宴会・婚礼 <b>調布クレストンホテル</b> 住所 〒182-0026 調布市小島町一・三八・一 調布パルコ8510F 電話 ○四二・四八九・五〇〇〇 FAX ○四二・四八九・一一〇六 <a href="http://www.cresthotel.jp">http://www.cresthotel.jp</a></p>	<p>早稲田大学商議員 <b>早稲田大学調布稲門会</b> <b>顧問 元木 勇</b> 自宅 〒182-0003 調布市若葉町二・二二・一〇 電話 ○三・三三〇〇・四五五四 FAX ○三・三三〇〇・八七二八</p>	<p>新しい食文化を創る <b>株式会社山屋本店</b> 代表取締役社長 <b>秋沢 淳雄</b> 住所 〒182-0024 東京都調布市布田三・一・一 電話 ○四二・四八二・四五八五 FAX ○四二・四八二・四五七二</p>	